

テーマ ものづくり

出西窯の価値に共感してもらえる都市消費者の開拓

企業組合出西窯

出西窯は、直営店となる情報発信・展示販売拠点施設の整備と国内有名服飾・生活雑貨メーカーとの取引を推進し、首都圏市場の開拓と自店舗での売上増加を達成した。

出西窯は、昭和30年6月に窯場の経営規模の適正化と事業の近代化による合理化を図るために組織化された組合である。もともとは昭和22年8月、斐川町出西の地において5人の青年と2人の賛助者の協力をもって創業している。企業組合の設立は、組合員の平等のもとでの法人形態を検討していた出西窯が島根県中央会や県等に相談して実現した。戦後まだ間もない創業期から、柳宗悦の提唱する民藝の思想や生き方に共鳴し、素朴で健康な美しい器だけでなく、暮らしの道具としてのものづくりに一

背景と目的

心に取り組み、全国の愛好者や幅広いファンに支持され続けている。また、出西窯は、一般的な陶芸品と同様に民芸店を中心に販売されてきたが、食器等の多様化や安価な外国製品の流入等が進み、売上も次第に低迷してきた。こうしたなか、出西窯のもつ思想や価値、魅力を感じてもらい、新たな売上を確保する取組みが必要とされていた。

事業・活動の内容

平成10年から出西窯の情報発信・展示販売の拠点施設となる「無自性館」の整備と首都圏の人気服飾・生活雑貨店である「BEAMS」との取引に取り組み、出西窯のコンセプトや価値観に共感してもらえる新たな都市消費者の開拓を進めている。

また、直営店舗となる無自性館を整備することにより、来訪者の

活動の成果

増加と売上の拡大が図られ、現在では売上全体の7割近くを占めるまで成長している。さらにBEAMSとの取引は、首都圏での出西窯の知名度を飛躍的に高めるきっかけとなり、新たな取引先の開拓や若い世代の顧客層の獲得にも貢献している。

平成24年3月には1億4,000万円超の売上を達成しており、組合の安定的な経営や新たな職人の確保育成等の多面的な効果をもたらしている。創業時より柳宗悦をはじめ河井寛次郎、浜田庄司、バーナードリーチ等の民藝の先駆者の教えをしっかりと守り、素朴で健康的な、使いやすい日常の食器を作り続けている。

こうした地道な取組みが、他の産地や商品とは異なるデザインや魅力を醸し出しており、今後一層

力強い陶器産地ブランドへの飛躍に期待が持たれている。



企業組合出西窯

住所：〒699-0612
島根県出雲市斐川町出西3368番地
設立：昭和30年6月
出資金：13,000千円
電話：0853-72-0239
URL：http://www.shussai.jp/
業種：窯業・土石製品製造業
会員：12人
組合専従者：12人